

令和7年度「第2回集団宿泊指導者研修」事業報告書

1 事業内容

(1) 趣 旨 香々地青少年の家を利用する学校等利用団体の指導者を対象に、事前にプログラムの立案を行い、集団宿泊活動の効果的な実施を図る。

(2) 対 象 香々地青少年の家を利用して集団宿泊活動を行う学校の指導者

(3) 実施期間 令和7年6月9日(月)

(4) 場 所 大分県立香々地青少年の家

(5) 参加人数 38団体 38名

(6) プログラム

時 間	内 容	会 場
13:00～13:20	○受付	別館玄関
13:20～13:25	○開会行事	視聴覚室
13:25～13:55(40分)	○研修 学校における集団宿泊活動の充実 ・集団宿泊活動の意義について	視聴覚室
13:55～14:05(5分)	○休憩	
14:05～15:30(80分)	○班別協議 ・施設利用の仕方について(説明) ・団体ごとの活動調整について(協議)	各研修室
15:30～16:15(45分)	○個別相談・下見など	各施設

2 全体を通して本研修を有意義であったと答えた割合(36名が回答)
94%・評価4段階中4が94%(34名)、無回答6%(2名)

3 事業の様子



4 参加者の感想や要望(意見)

【感想】

- ・「ねらいを意識した体験活動の設計」に気づき、事前指導や準備の重要性を再確認できた。
- ・施設案内や活動内容の説明により、当日の動きや児童への指導の流れが具体的にイメージできた。
- ・潮位や天候を考慮した助言、活動場所の確認、スケジュールの整合などスムーズに行え、当日の見通しを持つことができた。

【要望(意見)】

- ・活動の動画や日程の具体例、満足度の高かったプログラム例(目標や計画書含む)などが事前に共有されていると、より具体的な計画につながるとの意見があった。
- ・アスレチックの早期再開を希望する声もあり、今後の施設整備に関する情報提供や対応の検討が求められた。